

1 主な年齢の平均余命

平成 25 年簡易生命表によると、男の平均寿命は 80.21 年、女の平均寿命は 86.61 年と前年と比較して男は 0.27 年、女は 0.20 年上回った。主な年齢の平均余命をみると、男女とも全年齢で前年を上回った。また、平均寿命の男女差は、6.40 年で前年より 0.07 年減少した。（表 1、表 2）

平均寿命が伸びたのは、性・年齢別にみた死亡状況の改善によるものである。これを死因別にみると、悪性新生物、心疾患（高血圧性を除く、以下同じ）、脳血管疾患及び肺炎の死亡状況の改善が大きい。（図 1）

表 1 主な年齢の平均余命

(単位：年)

年齢	男			女		
	平成25年	平成24年	前年との差	平成25年	平成24年	前年との差
0歳	80.21	79.94	0.27	86.61	86.41	0.20
5	75.45	75.19	0.26	81.84	81.67	0.17
10	70.49	70.23	0.26	76.87	76.70	0.17
15	65.52	65.26	0.26	71.89	71.72	0.17
20	60.61	60.36	0.25	66.94	66.78	0.16
25	55.77	55.52	0.25	62.01	61.85	0.16
30	50.93	50.69	0.24	57.09	56.94	0.15
35	46.09	45.85	0.24	52.19	52.04	0.15
40	41.29	41.05	0.24	47.32	47.17	0.15
45	36.55	36.32	0.23	42.49	42.35	0.14
50	31.92	31.70	0.22	37.74	37.59	0.15
55	27.44	27.23	0.21	33.07	32.92	0.15
60	23.14	22.93	0.21	28.47	28.33	0.14
65	19.08	18.89	0.19	23.97	23.82	0.15
70	15.28	15.11	0.17	19.59	19.45	0.14
75	11.74	11.57	0.17	15.39	15.27	0.12
80	8.61	8.48	0.13	11.52	11.43	0.09
85	6.12	6.00	0.12	8.19	8.10	0.09
90	4.26	4.16	0.10	5.53	5.47	0.06

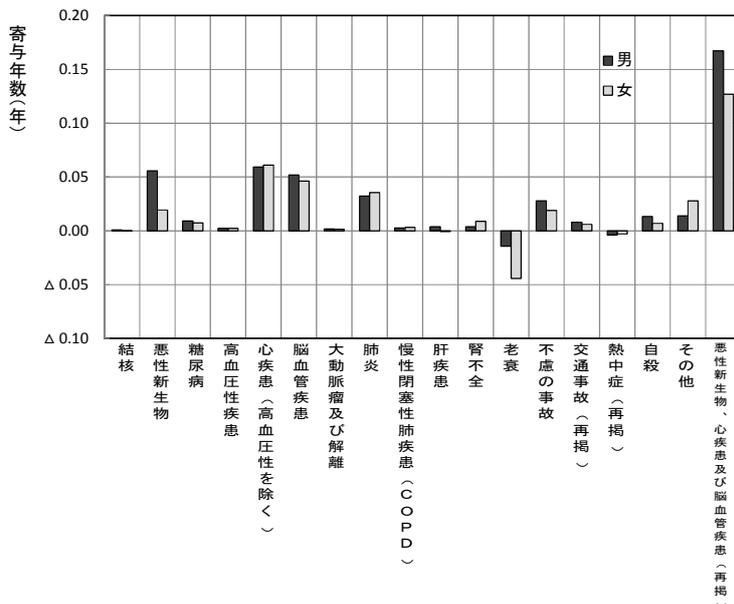
表 2 平均寿命の年次推移

(単位：年)

和暦	男	女	男女差
昭和22年	50.06	53.96	3.90
25-27	59.57	62.97	3.40
30	63.60	67.75	4.15
35	65.32	70.19	4.87
40	67.74	72.92	5.18
45	69.31	74.66	5.35
50	71.73	76.89	5.16
55	73.35	78.76	5.41
60	74.78	80.48	5.70
平成2	75.92	81.90	5.98
7	76.38	82.85	6.47
12	77.72	84.60	6.88
17	78.56	85.52	6.96
18	79.00	85.81	6.81
19	79.19	85.99	6.80
20	79.29	86.05	6.76
21	79.59	86.44	6.85
22	79.55	86.30	6.75
23	79.44	85.90	6.46
24	79.94	86.41	6.47
25	80.21	86.61	6.40

注：1) 平成 17 年以前及び平成 22 年は完全生命表による。
2) 昭和 45 年以前は、沖縄県を除く値である。

図 1 平均寿命の前年との差に対する死因別寄与年数



[寄与年数] (単位：年)

	男	女
結核	0.00	0.00
悪性新生物	0.06	0.02
糖尿病	0.01	0.01
高血圧性疾患	0.00	0.00
心疾患(高血圧性を除く)	0.06	0.06
脳血管疾患	0.05	0.05
大動脈瘤及び解離	0.00	0.00
肺炎	0.03	0.04
慢性閉塞性肺疾患(COPD)	0.00	0.00
肝疾患	0.00	△ 0.00
腎不全	0.00	0.01
老衰	△ 0.01	△ 0.04
不慮の事故	0.03	0.02
交通事故(再掲)	0.01	0.01
熱中症(再掲)	△ 0.00	△ 0.00
自殺	0.01	0.01
その他	0.01	0.03
悪性新生物、心疾患及び脳血管疾患(再掲)	0.17	0.13

注：交通事故及び熱中症は、不慮の事故の再掲である。